

2027年3月期 第1四半期 決算概要

2026年8月7日



パンチ工業株式会社

(証券コード: 6165 東証スタンダード)



PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

2027年3月期 1Q決算ハイライト

日本の受注状況が回復し、すべての地域で前年同期実績を上回る 業種別でも自動車関連を除き好調

売上	連結	連結売上高は、前年同期比+6.7%、6億円増収の108億円
	日本	前年同期比+13.1%の30億円 景気の回復による市況の活性化や営業活動の効果により増収
	中国	前年同期比+2.0%の61億円 自動車関連の売上が落ち着くも、電子部品・半導体は好調
	東南アジア	前年同期比+28.7%の6億円 マレーシア・シンガポール・インドは好調、ベトナムが不調
	欧米他	前年同期比+7.0%の10億円 欧州が好調に推移
利益		営業利益は前年同期比+47.4%の566百万円 経常利益は前年同期比+69.3%の572百万円 親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比+158.8%の375百万円
ネット資金		当期純利益の計上等により、期首から63百万円増加



損益計算書サマリー(1Q比較)

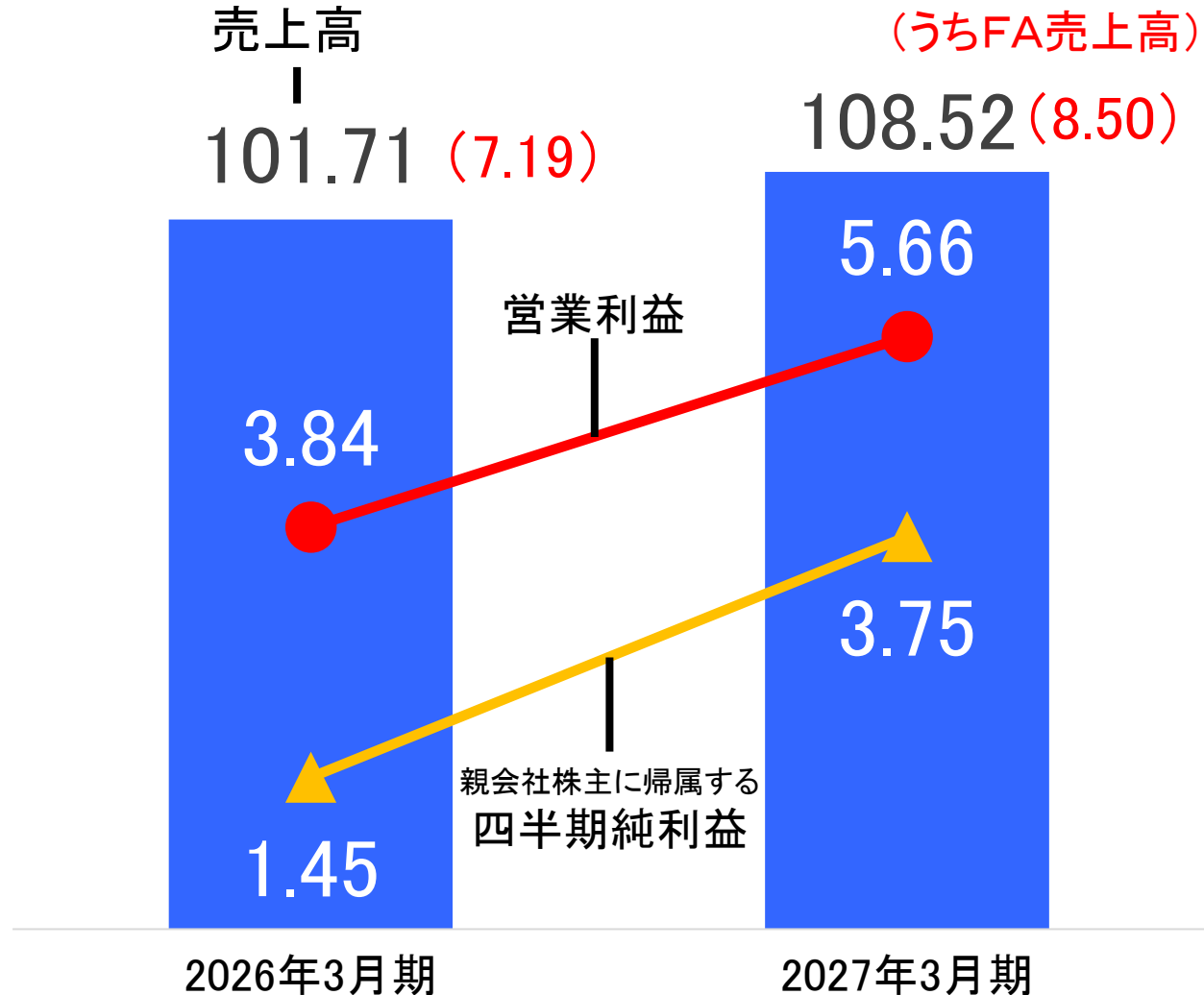
(単位:百万円)

	2026年3月期	2027年3月期	前年同期差	前年同期比
売上高	10,171	10,852	680	+6.7%
営業利益	3.8% 384	5.2% 566	182	+47.4%
経常利益	3.3% 338	5.3% 572	234	+69.3%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1.4% 145	3.5% 375	230	+158.8%

【為替レート(実績)】 1人民元=22.57円／1USドル=156.48円

売上高と利益(1Q比較)

(単位: 億円)



【前年同期比較】

売上高	6 億 80 百万円	増収
営業利益	1 億 82 百万円	増益
純利益	2 億 30 百万円	増益

※親会社株主に帰属する(四半期・中間・当期)純利益

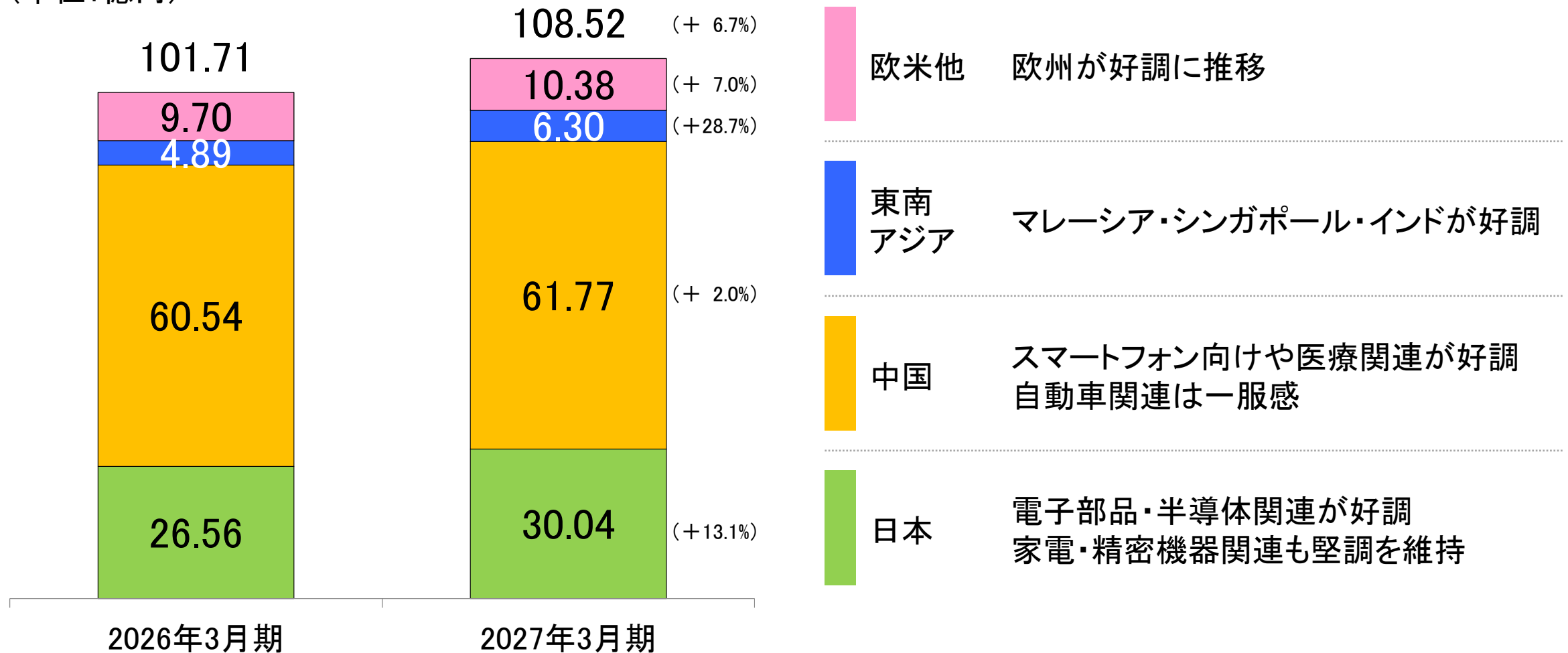


地域別売上高(1Q比較)

全ての地域で前年同期実績を上回る 日本の売上増が大きく貢献

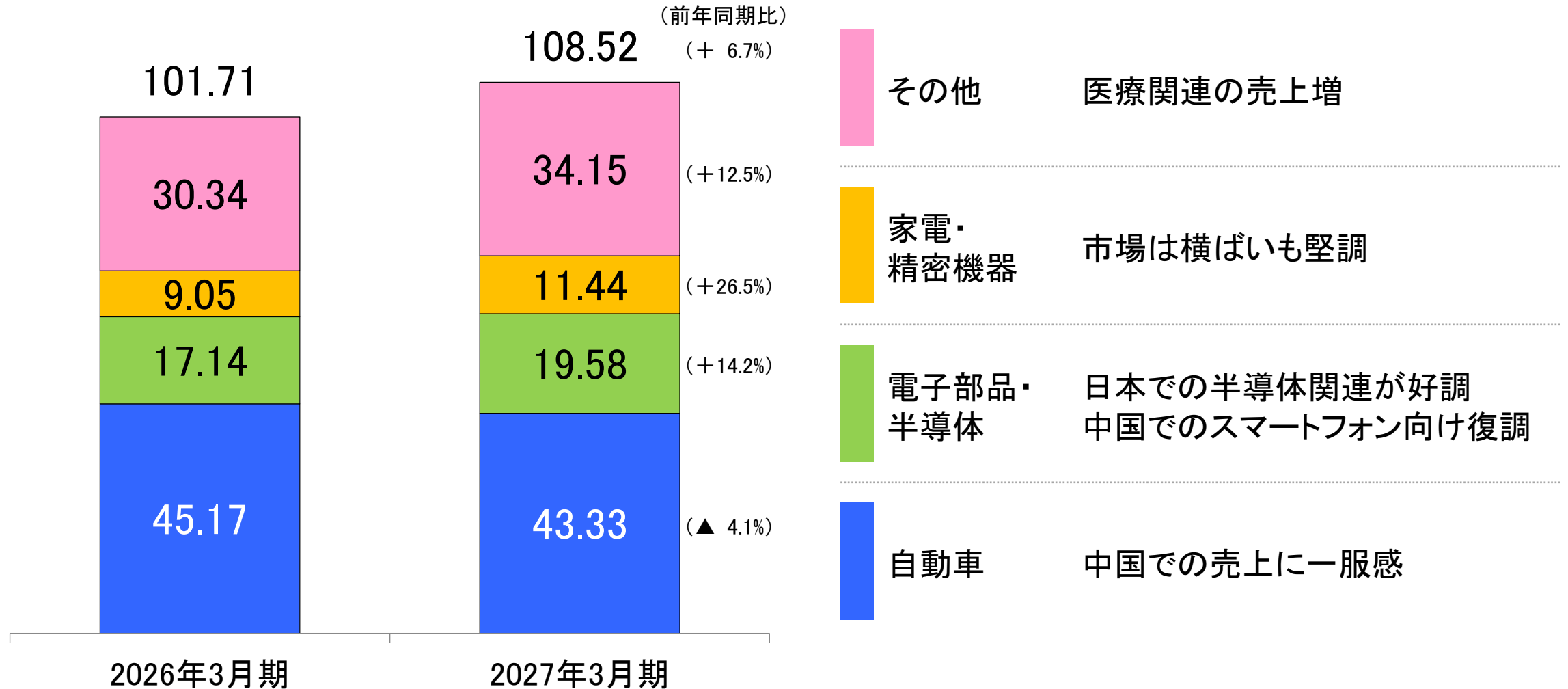
(単位:億円)

(前年同期比)



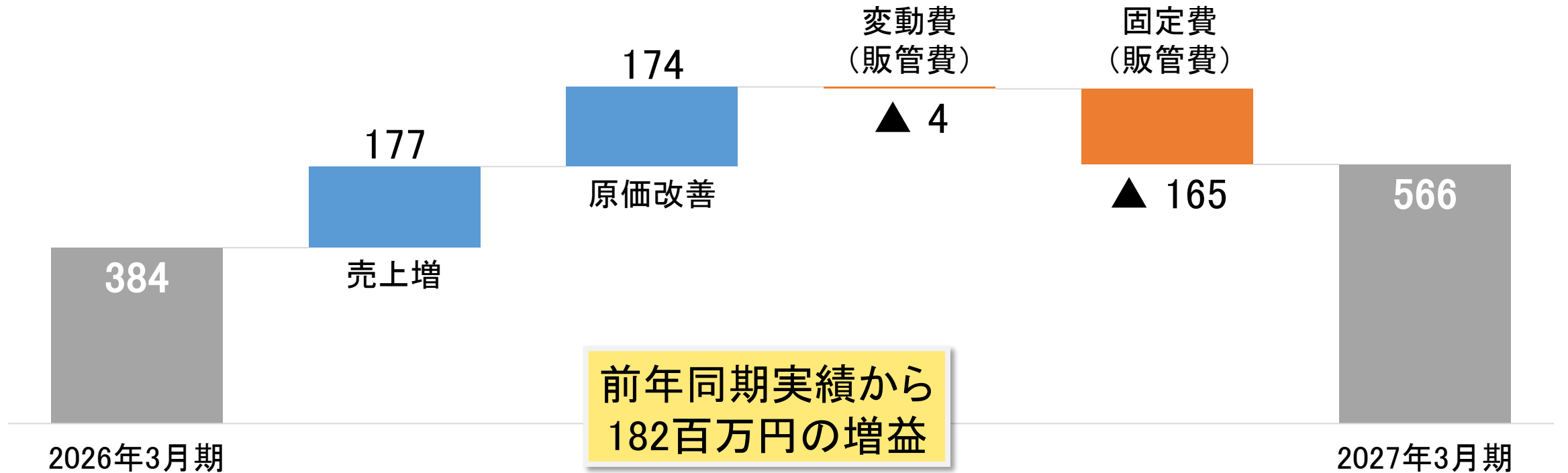
業種別売上高(1Q比較)

自動車関連は低迷するも、それ以外の業種では前年同期実績を上回る「その他」は医療関連の売上増



営業利益増減(1Q比較)

(単位:百万円)



【売上の主な増減要因】

- (+) 日本の受注増が大きく貢献
- (-) 主として中国の自動車関連の受注減

【原価率の主な増減要因】

- (+) 日本での稼働増による原価率改善
- (-) 材料等の調達コストの高止まり

【販管費の主な増減要因】

- (+) 日本・中国での間接費の抑制
- (-) 増収による物流費、日本での営業活動人員の増加



貸借対照表サマリー

(単位:百万円)

	2026年3月期末	2027年3月期 第1四半期末	比較増減
総資産	34,300	34,429	128
総負債	11,220	10,131	▲ 1,089
うち有利子負債	3,083	2,570	▲ 512
純資産	23,079	24,297	1,218
ネット資金	3,558	3,621	63
自己資本比率	67.3%	70.6%	3.3pt

	2026年3月期 第1四半期	2027年3月期 第1四半期	比較増減
設備投資額(無形固定資産含む)	179	173	▲ 6
減価償却費(無形固定資産含む)	292	315	22



2027年3月期 第2四半期累計期間の業績予想を修正

(単位:百万円)

	2026年3月期 第2四半期 (実績)	2027年3月期 第2四半期累計期間					
		前回予想		修正予想		前年同期差 (前年同期比)	前回予想差 (前回予想比)
売上高	20,564	22,100		23,000		2,436 (+11.8%)	900 (+4.1%)
営業利益	4.8% 989	4.8% 1,070	5.5% 1,260		271 (+27.4%)	190 (+17.8%)	
経常利益	5.0% 1,035	4.7% 1,040	5.3% 1,230		195 (+18.8%)	190 (+18.3%)	
親会社株主に帰属する 中間純利益	2.7% 559	1.5% 340	2.6% 600		41 (+7.3%)	260 (+76.5%)	

【為替レート】 1人民元＝23円02銭／1USドル＝158円30銭

2027年3月期 通期連結業績及び配当の予想を修正

(単位:百万円)

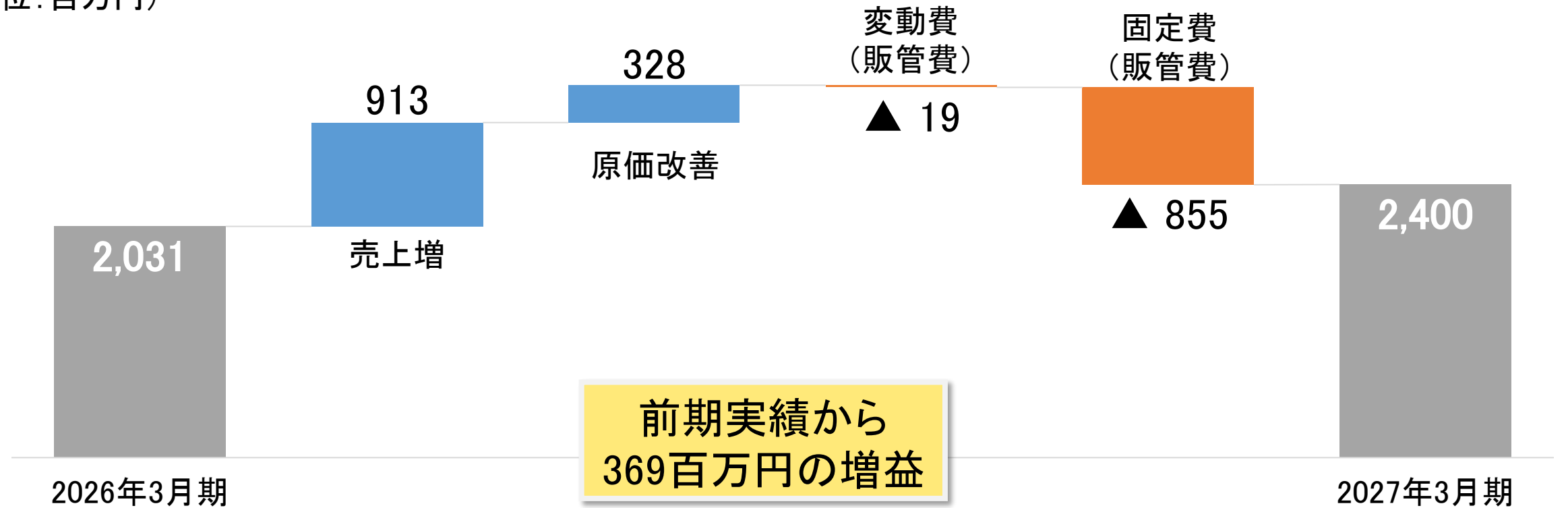
	2026年3月期 (実績)		2027年3月期 連結累計期間					
			前回予想		修正予想		前期差 (前期比)	前回予想差 (前回予想比)
売上高	42,100		45,000		45,500		3,400 (+8.1%)	500 (+1.1%)
営業利益	4.8%	2,031	5.1%	2,300	5.3%	2,400	369 (+18.1%)	100 (+4.3%)
経常利益	5.2%	2,201	5.0%	2,250	5.3%	2,400	199 (+9.0%)	150 (+6.7%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	2.0%	851	2.4%	1,100	2.6%	1,200	349 (+40.9%)	100 (+9.1%)
自己資本利益率(ROE)	5.0%		6.2%		6.8%		1.8 pt	0.6 pt
投下資本利益率(ROIC)	7.0%		7.7%		8.1%		1.1 pt	0.4 pt

2027年3月期 配当予想	20円10銭(予定) = 中間 10円05銭 + 期末 10円05銭
------------------	------------------------------------

【為替レート】 1人民元＝22円55銭／1USドル＝155円39銭 【設備投資】 設備投資額:16億円 減価償却費:12億円

営業利益増減(2027年3月期の業績予想)

(単位:百万円)



【売上の主な増減要因】

- (+) 日本を中心とした受注の増加
- (-) 原材料高騰要因での価格改定による一時的な離客

【原価率の主な増減要因】

- (+) 日本での稼働増等による原価率改善
- (-) 原材料高騰

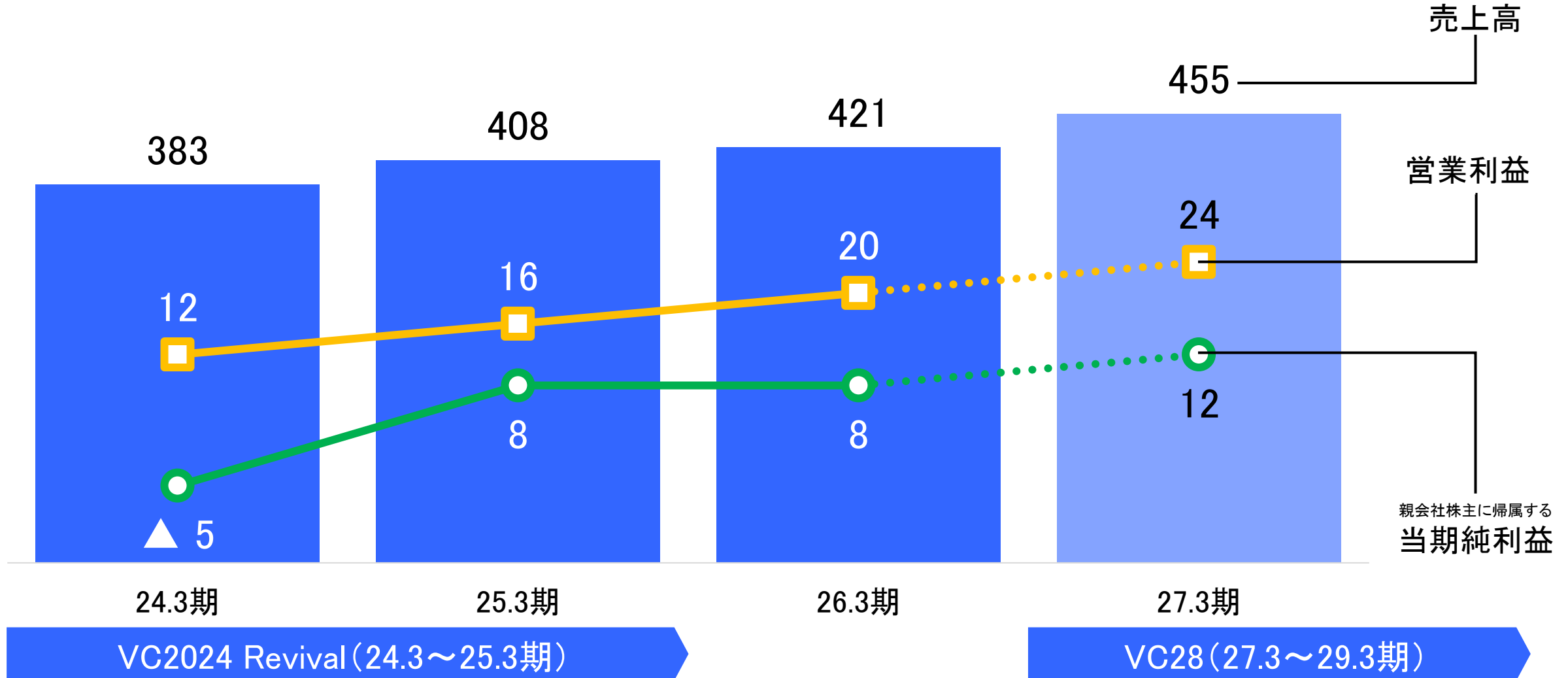
【販管費の主な増減要因】

- (+) 日本・中国での間接費の抑制
- (-) 日本の営業体制整備に向けた人員増、先行コスト増



経営数値の推移予想

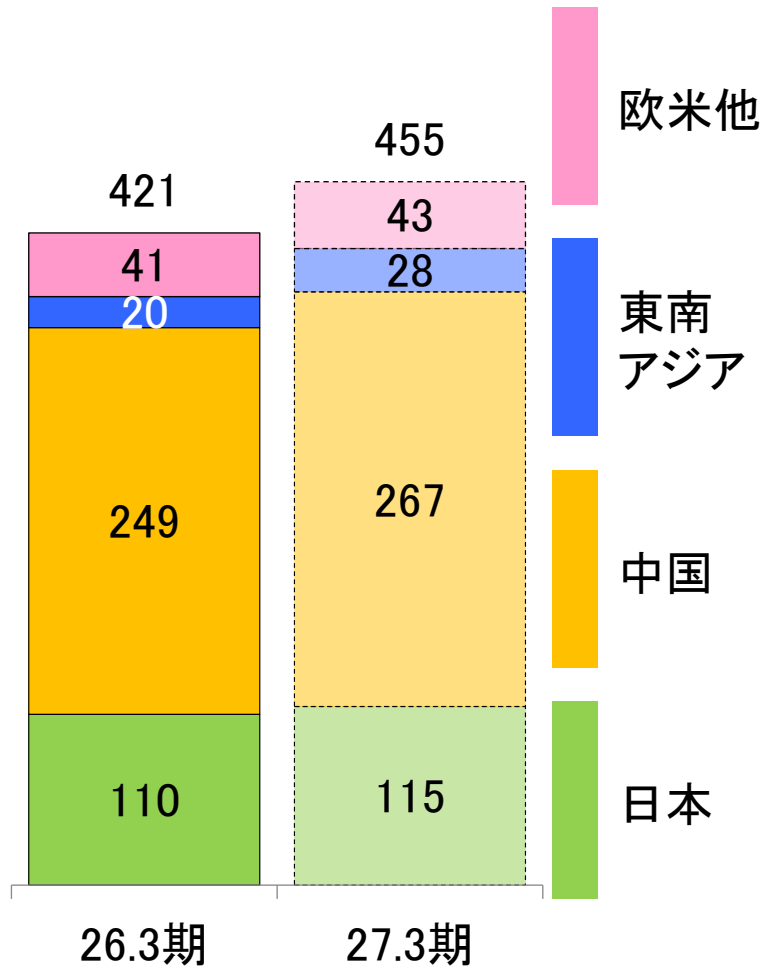
(単位: 億円)



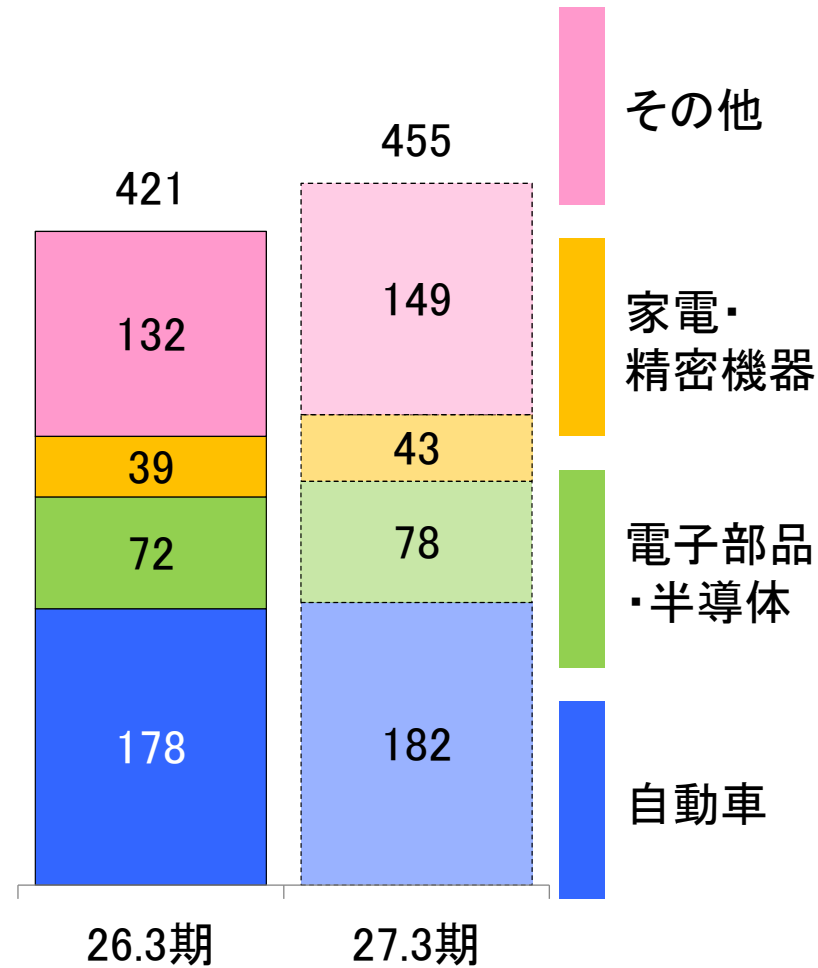
地域別・業種別・事業別売上の数値目標

地域別

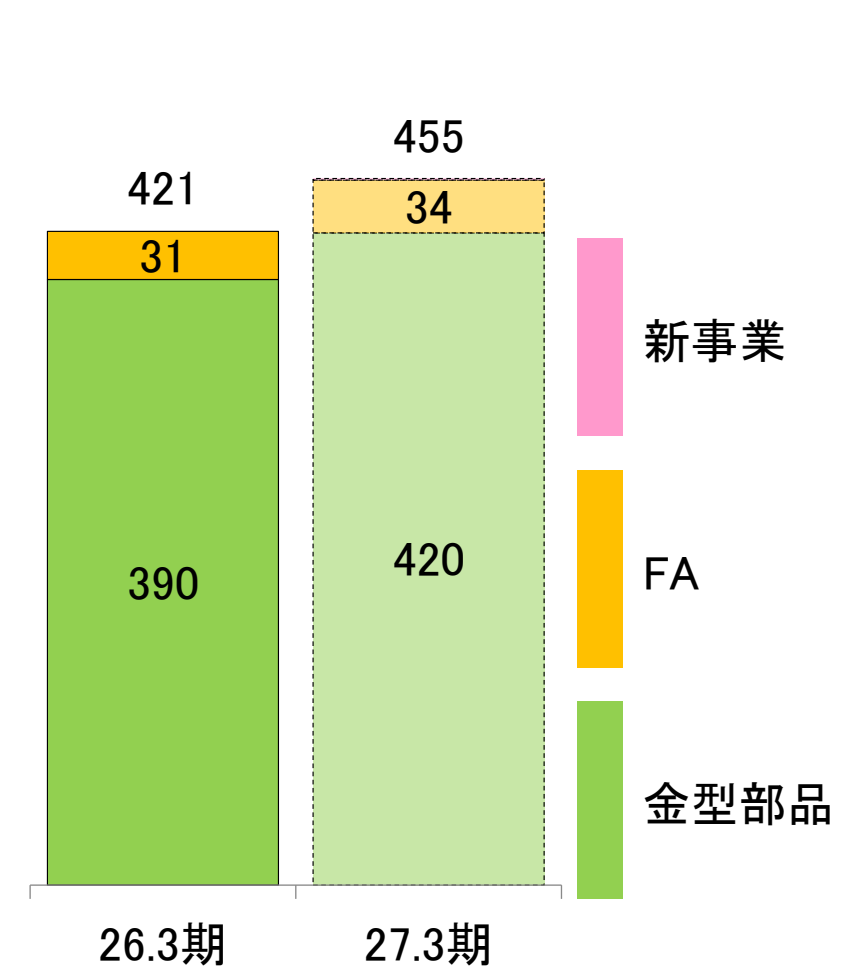
(単位: 億円)



業種別



事業別



投資家との対話の質・量の向上に向けた取組み

5/26、日本証券アナリスト協会にてハイブリッド形式で実施(アナリスト向け)
次回は9月にオンラインのライブ配信形式で実施予定(個人投資家向け)



- 2026年3月期決算と中期経営計画
「バリュークリエーション28」について説明
➢ CEO、CFO、社外取締役が登壇

- 説明会のアーカイブ動画

<https://www.youtube.com/watch?v=YPyWxkexW3k&t=10s>

- 配布資料

https://www.punch.co.jp/ir/upload/20260513_gaiyou.pdf (決算説明)

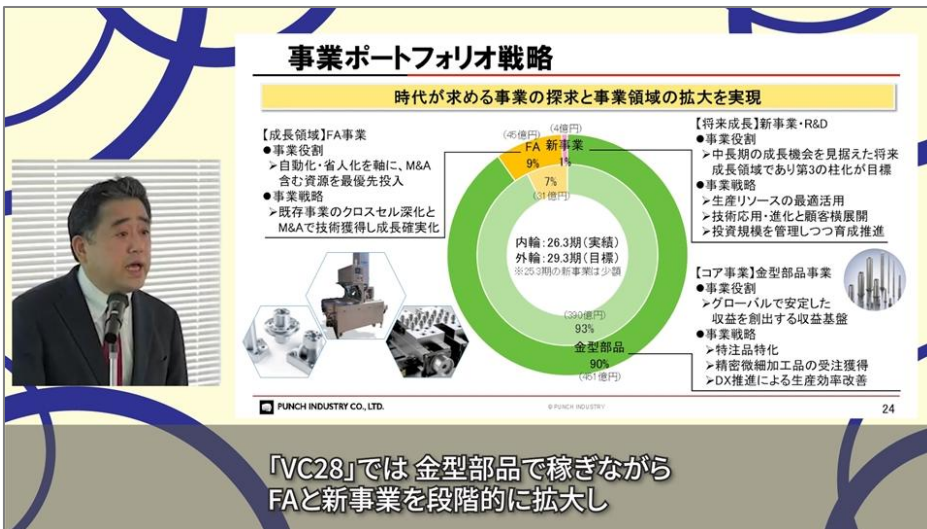
https://www.punch.co.jp/ir/upload/20260513_value_creation_28.pdf (中計)

- 個人投資家向けの決算説明会を開催

- 9月、オンラインのライブ配信形式で開催

- 開催概要は企業Webサイトにてお知らせ(8月中旬予定)

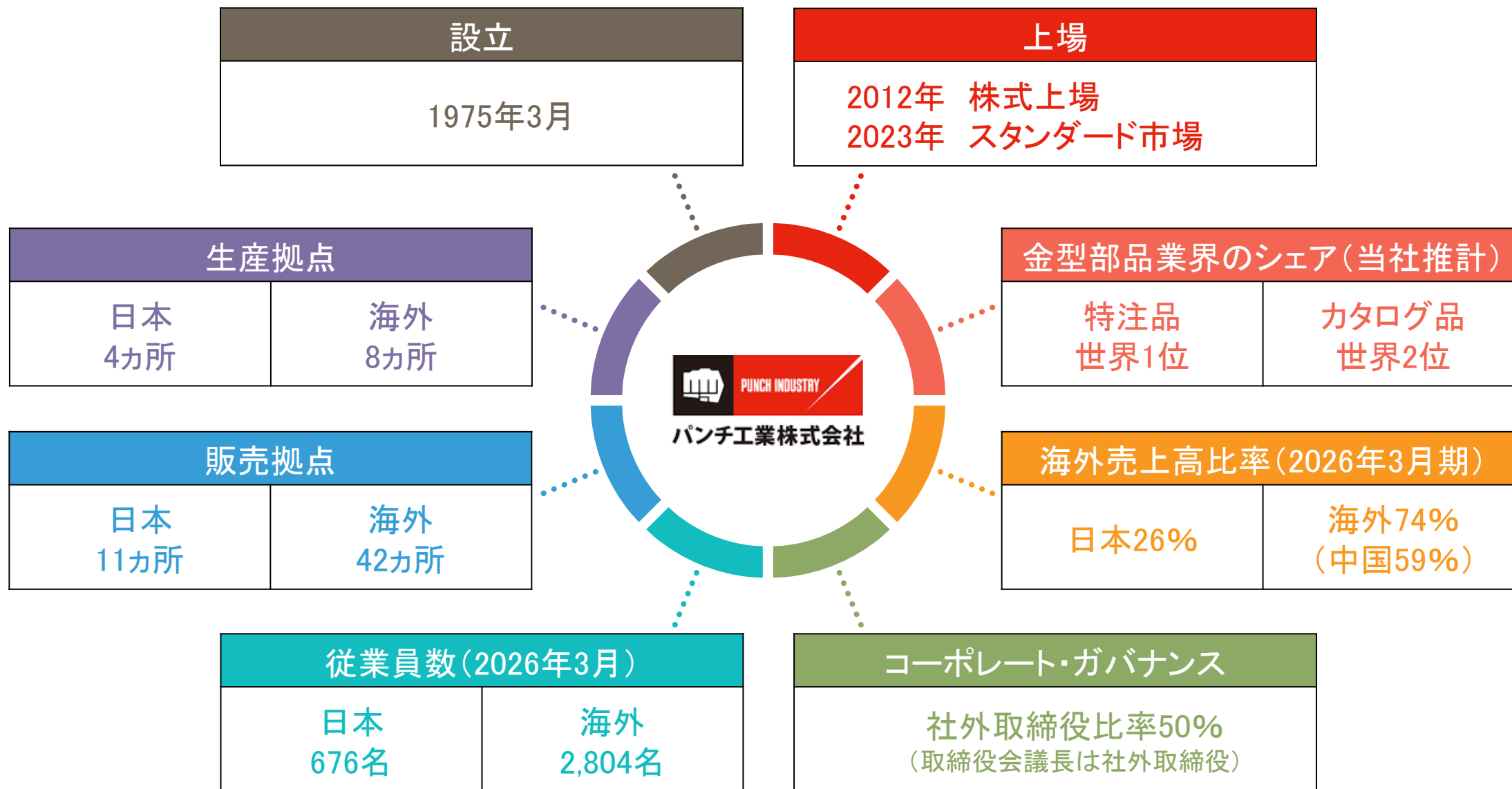
<https://www.punch.co.jp/ir/>



参考資料



ひと目でわかるパンチグループ



マネジメント体制

代表取締役社長プロフィール

氏名及び生年月日 職歴

森久保 哲司
(1977年1月22日)

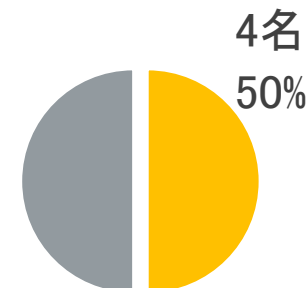


2003年5月	当社入社
2005年2月	盤起工業(大連)有限公司
2012年11月	バリュー・クリエーション推進室長
2013年4月	経営企画室長
2015年4月	PUNCH INDUSTRY MALAYSIA SDN. BHD.
2016年5月	執行役員
2018年6月	取締役 上席執行役員 経営戦略統括
2019年4月	最高戦略責任者 グループ事業統括
2019年6月	代表取締役(現任) 副社長執行役員
2019年11月	社長執行役員 最高経営責任者 グループ経営統括(現任)

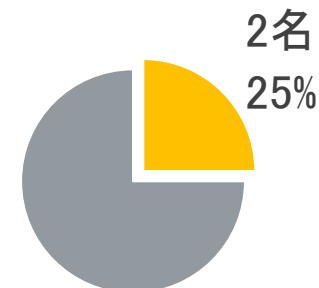
取締役体制

取締役	代表取締役社長執行役員 最高経営責任者(CEO)	森久保 哲司
	取締役上席執行役員 最高執行責任者(COO)	高梨 晃
	取締役上席執行役員 最高財務責任者(CFO)	松澤 靖
	社外取締役	高辻 成彦
	社外取締役 取締役会議長	大里 真理子
取締役 (監査等委員)	取締役(監査等委員)	河野 稔
	社外取締役(監査等委員)	鈴木 智雄
	社外取締役(監査等委員)	田畑 千絵

社外取締役比率



女性取締役比率



パンチグループ沿革

'70

1975

- ・創業、プリント基板用穴あけピン製造

'80

1982

- ・プラスチック金型部品に進出
(ハイスエジクタピンの量産化に成功)

1983

- ・北上工場設置、金型部品の全国販売を開始

1989

- ・宮古パンチ工業(現:宮古工場)設立

'90

1990

- ・中国大連に製造拠点設立

'00

2001

- ・中国国内に販売拠点設置

'10

2010

- ・インドに販売拠点設立

2013

- ・パンサー社(現:マレーシアパンチ)をグループ会社化
- ・中期経営計画(以下、中計)策定
「バリュークリエーション(以下、VC)15」

2014

- ・東京証券取引所市場第一部銘柄に指定
(2012年東証二部上場)

2015

- ・ベトナムに製造拠点設立
- ・創業40周年

2016

- ・ベトナム工場、本稼働開始
- ・米国イリノイ州に販売拠点設立
- ・中計「VC2020」策定

2018

- ・中国大連の製造拠点増設

2019

- ・ベトナム工場 第2フェーズ開始

'20

2020

- ・中計「VC2020Plus」策定
- ・経営革新プロジェクト開始

2022

- ・中計「VC2024」策定
- ・株式会社ASCeをグループ会社化

2023

- ・中計「VC2024 Revival」策定
- ・東京証券取引所スタンダード市場移行

2024

- ・ミスミグループとの資本業務提携契約を締結

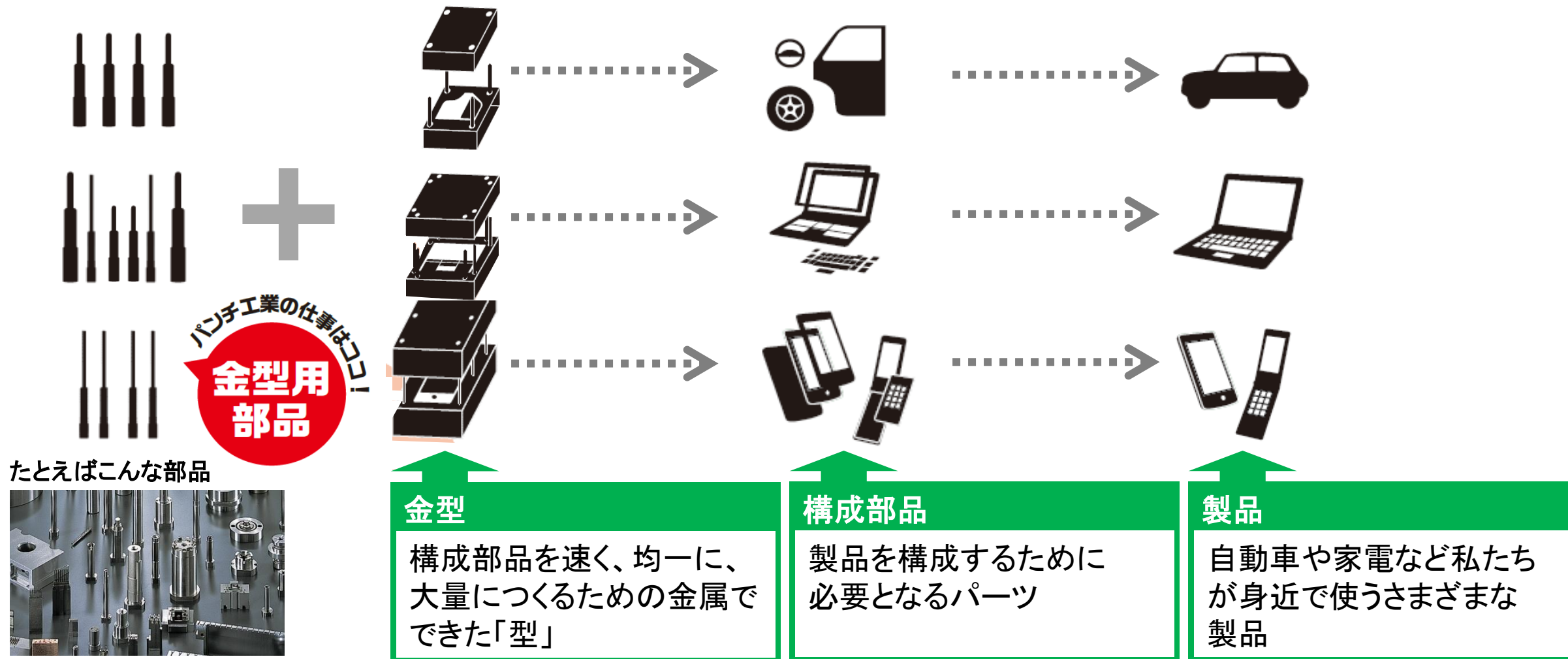
2025

- ・長期ビジョン「Vision60」策定



事業内容

金型を構成するために、なくてはならない多種多様な精密金型部品の製造・販売
皆様の豊かな生活を支える「縁の下の力持ち」



パンチグループの強みとネットワーク

汎用性の高いカタログ品を豊富にラインアップ & カスタムニーズにも対応する特注品
世界の「ものづくり」を支える

パンチグループの強み

お客様に高い満足度を提供

日本・中国

特注金型部品シェア1位 ※当社推計

カタログ品

汎用性の高い標準製品を………
豊富にラインアップ



タイムリーで
的確な
ソリューション

一気通貫の
生産体制
2,000台の設備で
幅広い対応力

お客様密着型の
営業体制
きめ細かな
対応・提案力

特注品

カスタムニーズにも
柔軟に対応

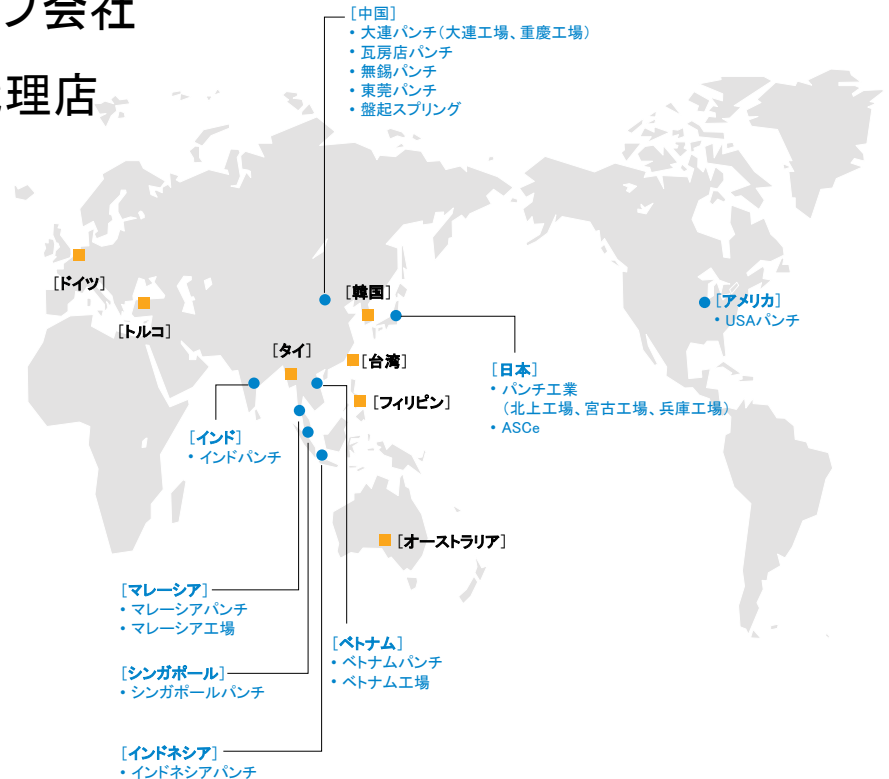


高い技術力
創業以来培った
ノウハウと
たゆまぬ研究開発

パンチグループのネットワーク

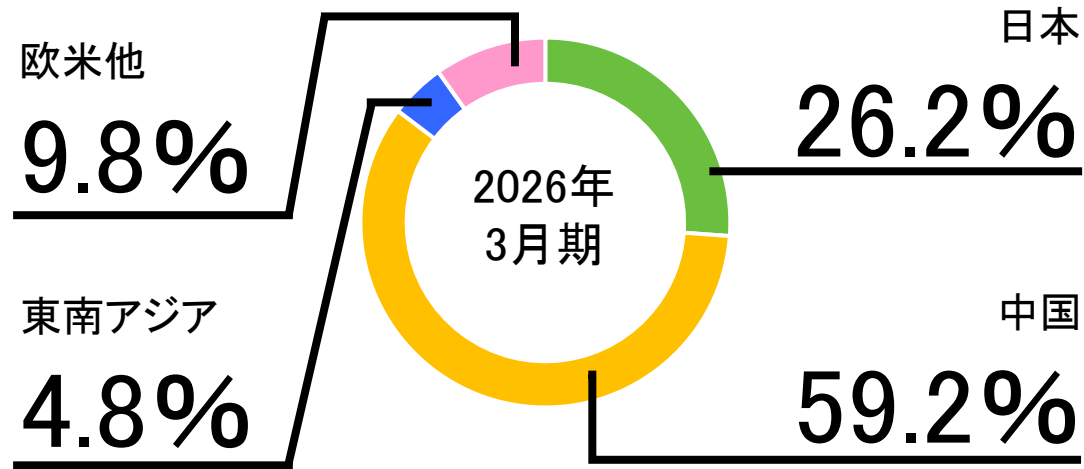
● グループ会社

■ 販売代理店

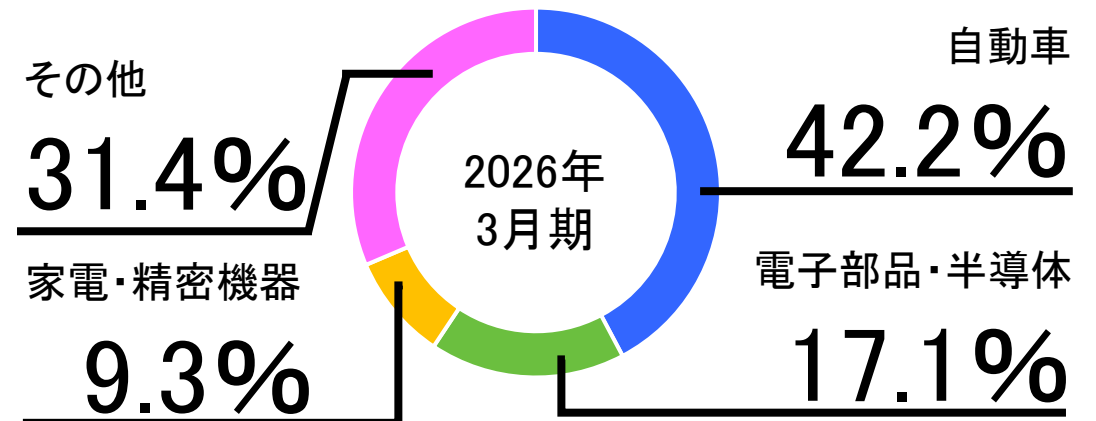


地域別・業種別売上高構成比

地域別売上高構成比



業種別売上高構成比



業種別の主要顧客

日本での主な競合先: 大手総合機械商社、地場金型加工メーカーなど
中国での主な競合先: 中華系機械商社、中華系機械メーカーなど

主要顧客

自動車メーカー
及びTier1,2
金型メーカー



主要顧客

電子部品メーカー
半導体装置メーカー
金型メーカー



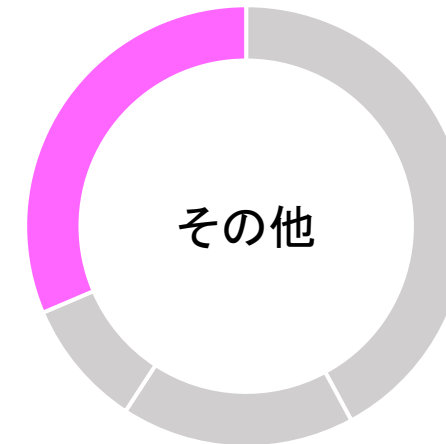
主要顧客

家電メーカー
金型メーカー



主要顧客

文具メーカー
玩具メーカー
医療メーカー
飲料容器メーカー
グローバル商社
金型メーカー



エンドユーザーのイメージ（例：自動車関連）

大多数のエンドユーザーは金型メーカー

自動車メーカー



ボディ・外装・シート・
コネクター・等々のメーカー



金型 メーカー



パンチグループ



パンチグループの主要製品

射出成型金型等のプラスチック金型部品とプレス加工金型等のプレス金型部品
ものづくりの上流から下流までお取引

プラスチック金型部品

プラスチック金型は、スマートフォンやデジタルカメラの外装など、多くのプラスチック製品の製造に用いられています。加熱溶融したプラスチック樹脂を、射出成形機に実装された金型に注入し、冷却、固化することにより製品が作られます。パンチグループでは、この金型を構成する部品を製造・販売しています。



主要な製品

エジェクタピン

射出成形された成形品を金型そのものから離し、突き出すための部品（押し出しピン）です。



主要な製品

コアピン

製品部を成形するのに使用し、コアピンの形が転写されます。製品部の貫通させた部分を成形したり、製品部に彫刻をします。

プレス金型部品

プレス機（上下運動する機械）に金型を装着し、上下に分かれた金型の間に材料となる金属の鋼板を入れ、プレス機を稼働することにより、金型で型どられた製品ができます。パンチグループでは、この金型を構成する部品を製造・販売しています。



主要な製品

パンチ

プレス金型に組込まれる代表的な部品で、金属板に穴をあけたり、形状を転写するための部品です。当社の社名はこのパンチに由来しています。



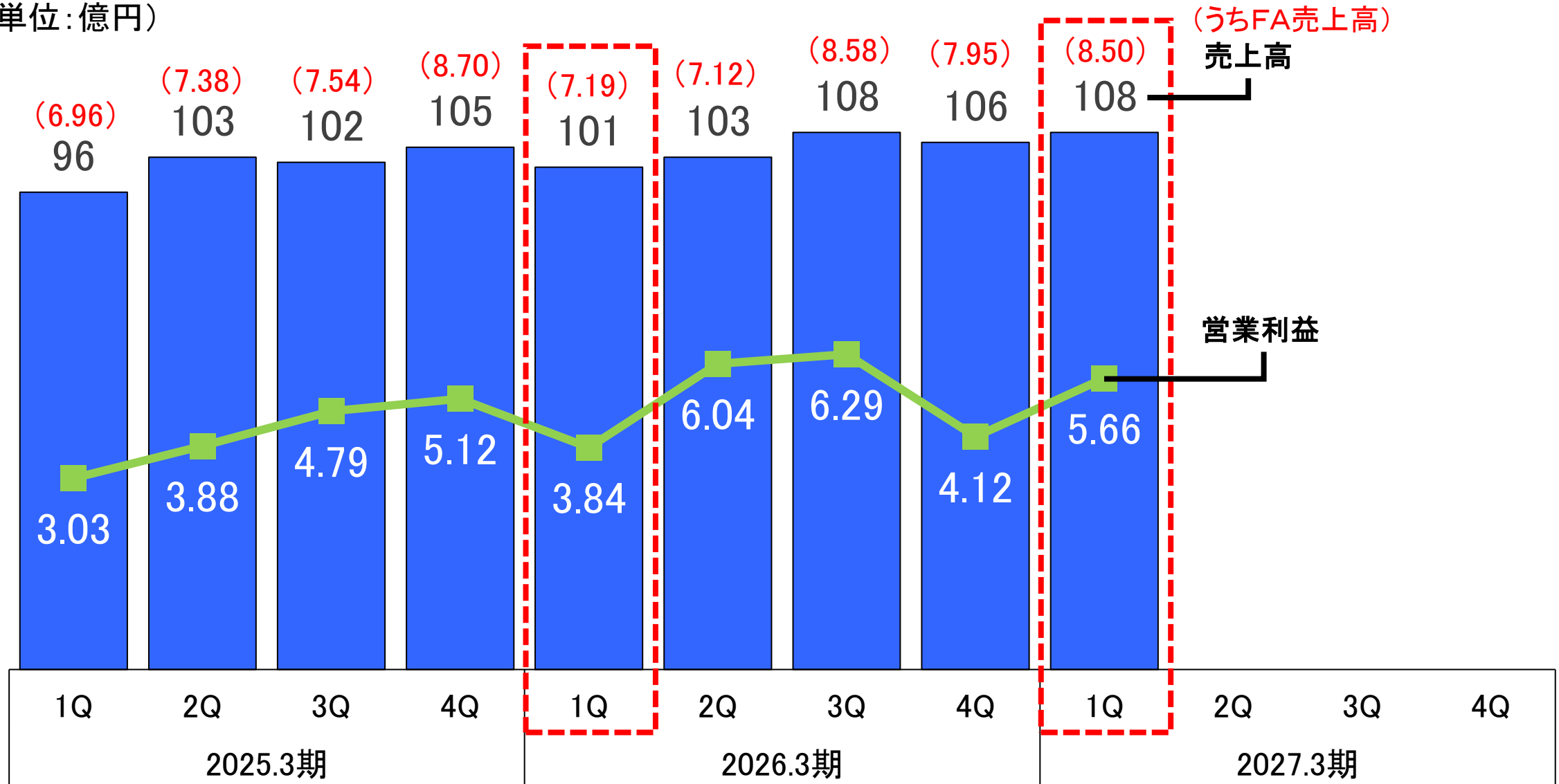
主要な製品

ホルダーガイドポスト関連

上型と下型の関係を正しく保つために使用する部品です。

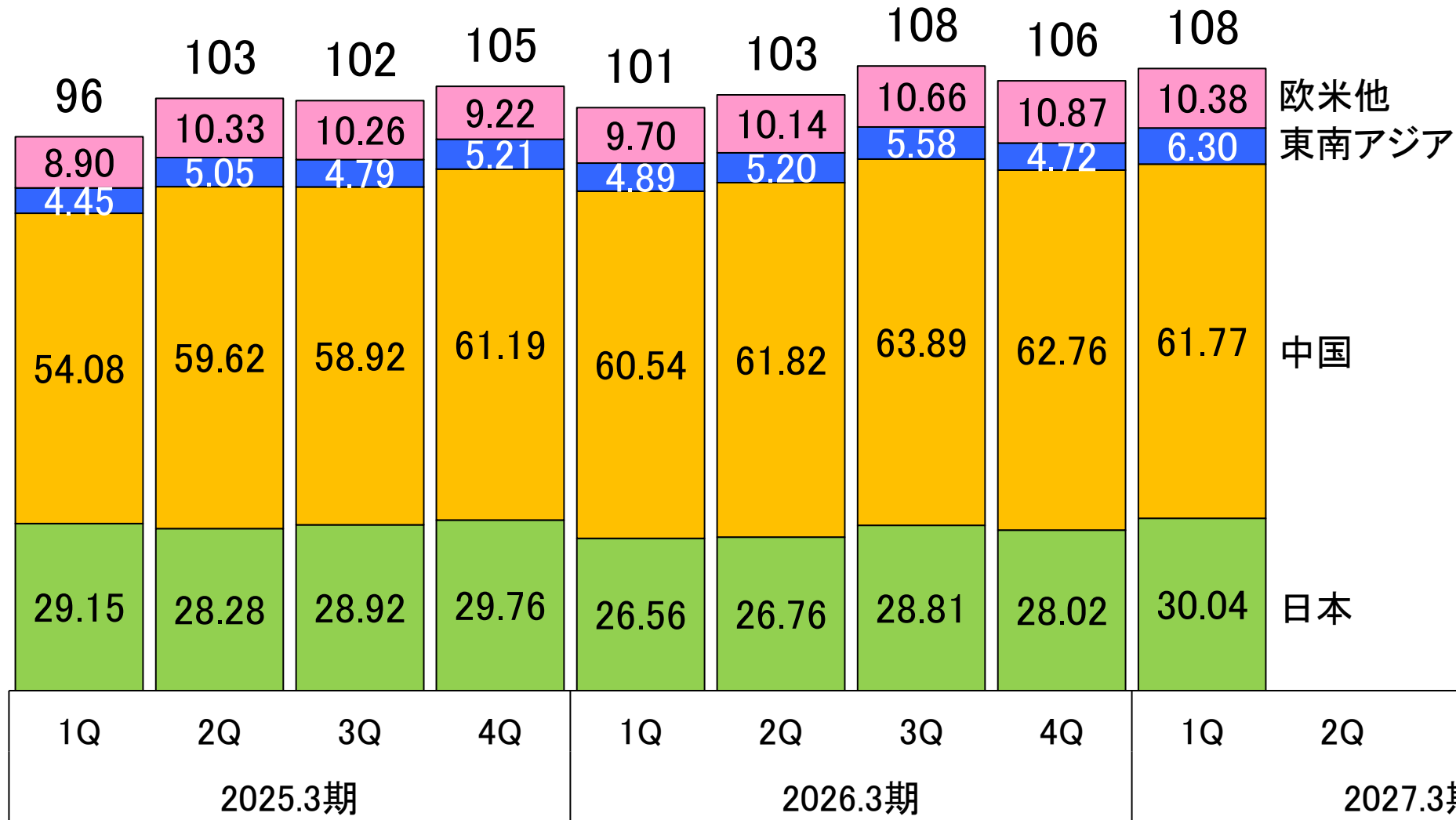
売上高と営業利益の推移

(単位: 億円)



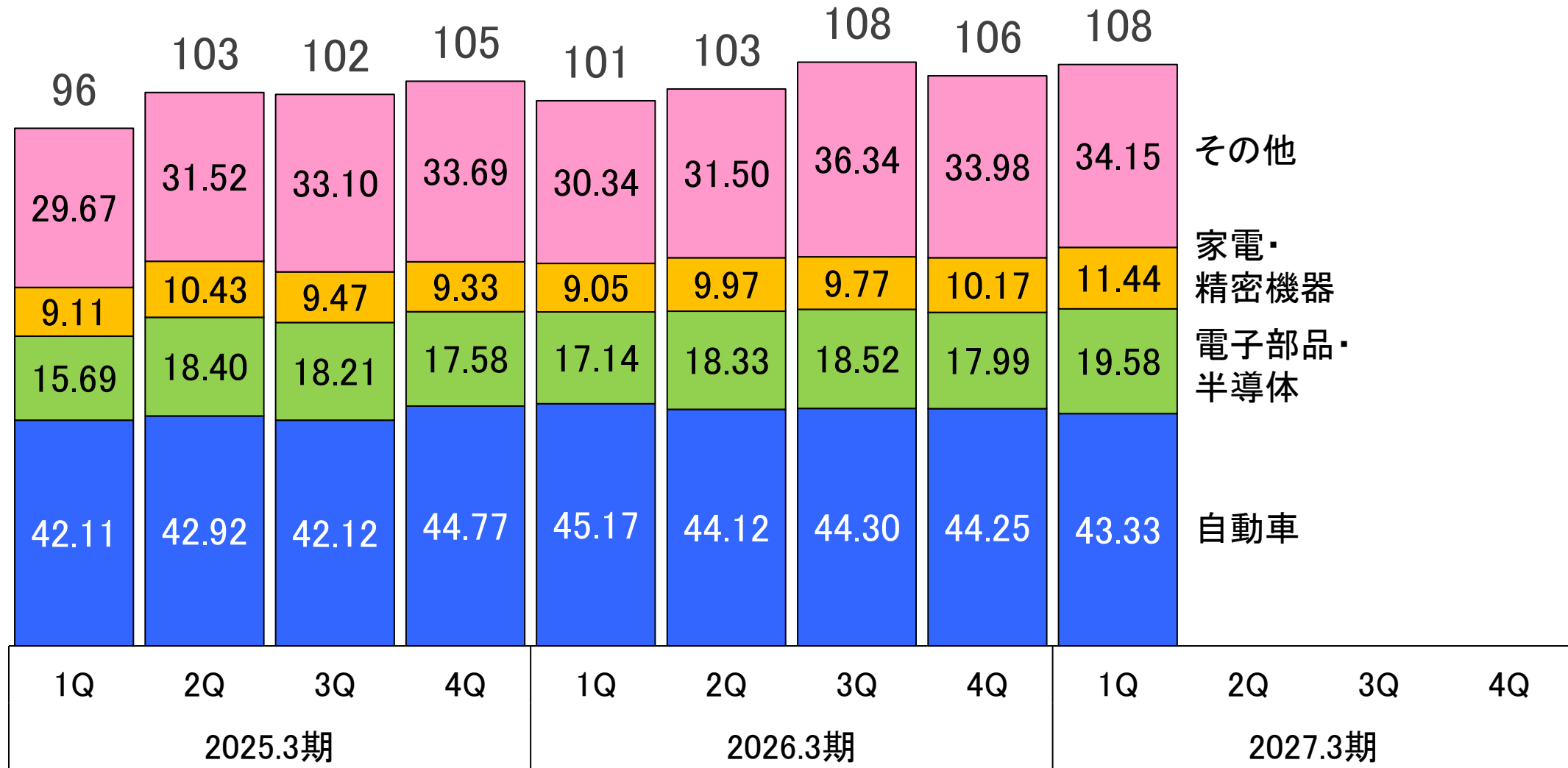
地域別売上高

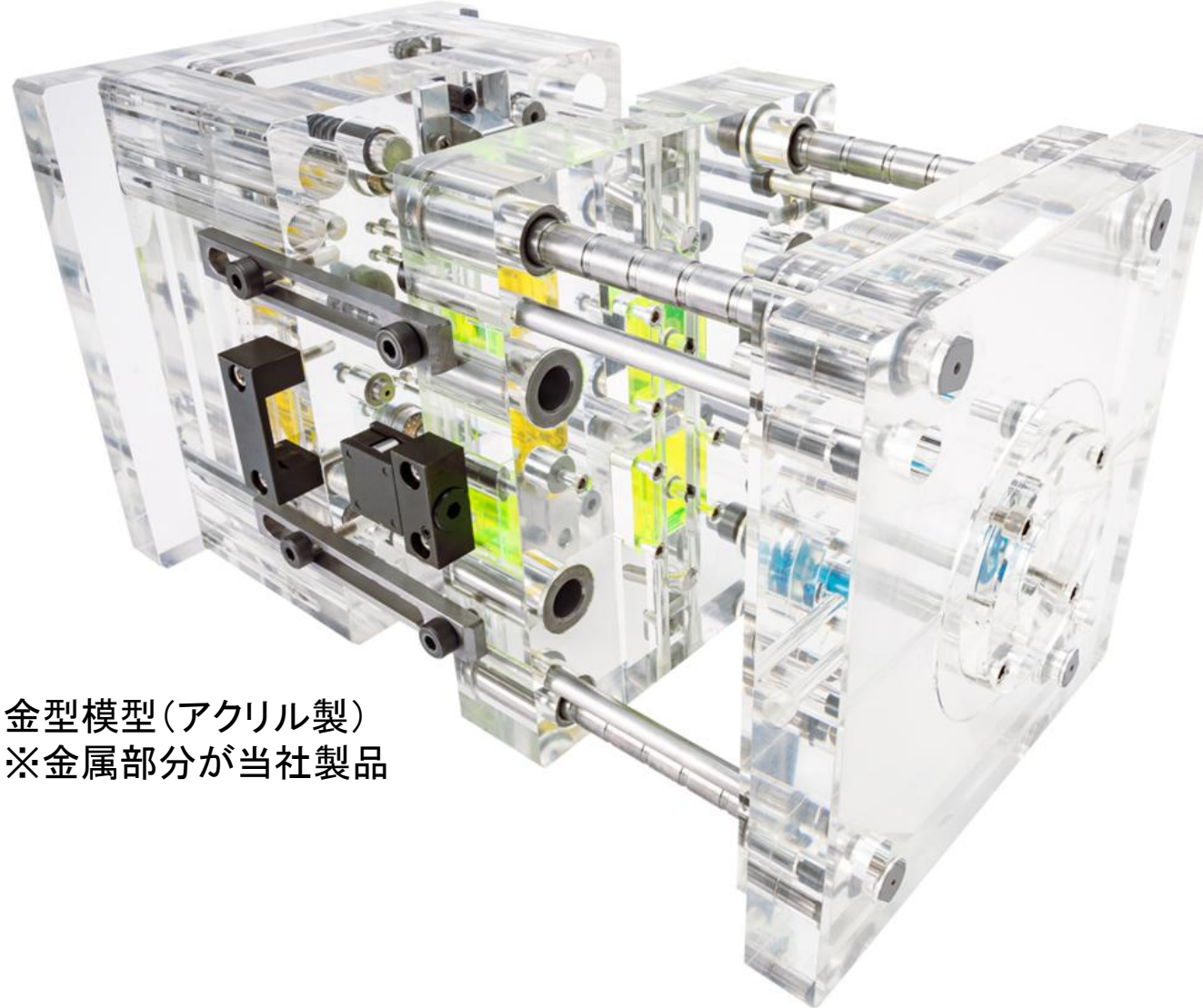
(単位: 億円)



業種別売上高

(単位: 億円)





金型模型(アクリル製)
※金属部分が当社製品

【IRに関するお問い合わせ先】 パンチ工業株式会社 コーポレート・コミュニケーション部 広報IR課 電話:03-5753-3130 e-mail:info-corp@punch.co.jp

【将来見通し等に関する注意事項】

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

また、業界等に関する記述につきましても、信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。